



第 280 回例会

日 時：平成 31 年 2 月 14 日 (木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：55 名 出席率 85.9%

(会員総数 64 名 欠席 9 名)

1. 開 会 池田例会委員長

第 280 回例会の開催告知と資料の確認。

2. 会 長 挨拶 馬 場 会 長



厳しい寒さは続いています
が、朝夕は随分と明るくなっ
て参りました。

今月から「生涯学習サロン」
がスタートします。当サロン
は我がクラブ発足と同時に開
始された誇るべきイベントで

あり、会員全員での支援をよろしくお願ひします。

今期のスローガンとして「語り合おう」を掲げまし
たが、2月の理事会では「全日本プロバス協議会やプ
ロバスクラブ間の交流会」について自由討議を行
いました。本件に関しては今後理事会で対応すべき課
題であるという認識によるものです。内容について
は寺田幹事の報告に譲ります。

次は当クラブの案内パンフレットです。理事会で
は近隣クラブのパンフレットなども参考にして数回
の検討を重ね、寺田幹事の大きな努力によって纏ま
ったものであります。後ほど幹事から紹介がありま
すが、大いにご活用ください。

さて、来年の 10 月は当クラブの創立 25 周年に当
たります。先月には会長・幹事経験者にお声がけし
て、本件に関する自由討議を開始しました。未だ報告
できるレベルには至っていませんが、6 月までには方
向性を打ち出すことを目指しています。

3. ハッピーコイン披露

田中交流担当からハッピーコイン 17 件の披露があ
った。(4～5 ページに掲載)

4. パースデーカードの贈呈

2 月生まれの 2 人の会員に、池田会員手作りのパ
ースデーカードが馬場会長から贈られた。



左から鈴木・根本洋子会員 (敬称略)

5. 卓 話 「自己紹介」 堀 武 彦

八王子生まれの八王子育ち、この 1 月で後期高齢
者の仲間入りです。経歴ですが、大学を卒業後自動車
会社に入社しましたが、家が代々家業というべき郵
便局長をしており、その父が病に倒れ、やむなく 30
歳の時会社を辞め、父の仕事のあとを継ぐかたちで、



当時は簡単な試験を受け郵
便局長の後を継ぎました。

八王子プロバスクラブの
創設者である故大野さんと
杉山さんとの出会いですが、
大野さんは仕事の先輩であ
り、私の両親の仲人を大野さ
んのご両親に又私たち夫婦も大野さんに仲人をして
いただいた間柄です。

その大野さんより随分前になりますが、神奈川県
の名門コースである本厚木 CC に誘われ、そのときの
ゴルフパートナーが当クラブの杉山さんでした。帰
り道厚木のそば屋さん立ち寄り、そばを食べながら
ロータリークラブの入会を勧められ、RCの会長

さんが杉山さんでそれ以来の30数年のお付き合いです。

RCに在籍していたとき故大野さん、杉山さん等で平成7年当時だと思いましたが、八王子にプロバスクラブを作ろうとの動きがあり、設立総会やら慌ただしかったことを記憶しております。

RC活動も副幹事まで勤めましたが、郵政事業にも民営化等の荒波が押し寄せてきつつあり、局長会を副会長として支えてきましたが、民営化反対の最前線に会長として担ぎ出されてしまい、やむなく局長会の仕事が繁忙のためRCを退会することといたしました。

郵便局の組織も時代とともに変遷し、郵政民営化前の日本郵政公社では今後民営化論議は一切行わないとの法律がありましたが、当時の小泉内閣が掲げていた「行政改革の本丸」としての郵政民営化の前にあえなく崩れ去りました。

当時日本に民営化の要求を突きつけてきたアメリカ自身でさえ、郵便事業を今もって国営で行っており、果たして民営化は正しかったのでしょうか。

国家公務員である郵便局職員24万人を民営化すれば、税金による人件費は大幅に削減できると声高々に当時の小泉総理は唱えていましたが、元々三事業の売り上げの中で人件費は賄っており、これは嘘であり又郵貯350兆円余の資金が市場に出れば景気はよくなる等の話は何であったのか疑問に残るところです。

さて、退職して約10年が経過しますが、元気に週一度のゴルフプレーを楽しんでおり又庭の手入れ等が趣味であり、暇があれば庭に出て盆栽の手入れや背の低い植木の手入れ等に励んでおります。

こんな人間ですがどうか今後ともよろしく願いいたします。

6. 幹事報告

寺田 幹事

① 全日本プロバス協議会及びプロバスクラブ交流会についての討議が理事会で行われました。全日本プロバス協議会からの会則、運営方針等各種の情報発信不足により、全体像が把握できず、全日本プロバス協議会の存在意義に対する理解不足や疑問を持っている、あるいは認識しておらず、無関心な会員も多い現状を踏

まえて、まず理事会メンバーの勉強会として、立川、杉山両会員からお話を聞き、全日本プロバス協議会及びプロバスクラブ交流会についてどのようなスタンスで接し



てゆけば良いか意見交換をしました。

方向付けとして、全日本プロバス協議会に対して、ホームページの再構築と会則、目的、運営方針、会員メンバーへのサービスの明確化等、各種の情報発信を要求しながら、2018年11月から発足し、又会費の増額もあり、意欲的な取り組みをするように見える新体制に期待して、暫く様子を見ることにしました。

又東日本や関東ブロック交流会についても、色々な意見や考え方がるので討議を続けながら、今年度は様子を見ることにしました。今後は、全日本プロバス協議会関係事項について理事会がフォローし、対応策の検討を行うことにしました。

② お手元にプロバスクラブの「ご案内」が配布されていると思いますが、理事会で審議してまとめ上げました。これは印刷の自前化として取り組んできた最後の物です。自前化と言っても、校正・印刷は外注しましたので印刷の自前化とはいえませんが、最新の内容でまとめ上げました。写真提供など皆様からのご協力に感謝します。ありがとうございました。レターケースに何部か入れておきますが、管理は会員委員会ですので、無断持ち出しされないようお願いいたします。

③ 日野プロバスクラブの新年会が1月17日立川グランドホテルで行われ、馬場会長を含む7名が参加し親睦を深めました。

7. 各委員会報告

(1) 例会委員会

池田委員長

本日の例会の出席状況は、出席55名・欠席9名で出席率は85.9%でした。

(2) 情報委員会

持田委員長

・本日プロバスだより279号をお届けしました。今月号の編集は河合副委員長が担当しました。

寄稿文は池田会員と岡部会員に協力を頂きました。ありがとうございました。

・HPの先月のクリック回数は200回でした。年初の休みもあり通常より少なくなりました。

現在理事会でも話し合いを進めているのですが、トップページの写真の見直しやアクセスのしやすさについて検討中です。リンク集も古いものがたくさんありますので見直します。

(3) 会員委員会 岡本委員長

① 新会員推薦に関するお願い

12月度の新入会員3名を加えまして、現在64名の会員数となっております。相変わらず、皆さま方には新会員の推薦をして頂きたい、お願い申し上げます。

② 新会員増員のためのイベント

毎年、春(八王子労政会館)・秋(南大沢)の2回、八王子市民活動協議会主催の「お父さんお帰りなさい」のイベントにおいてプロバスクラブの紹介をしております。今春はさっそく3月9日(土)に開催されますので、当クラブのPRをする予定です。

③ 2月度より例会参加費の集金

会則第7条の改定に伴い、2月は例会費1,000円と生涯学習サロン参加費3,000円、合計4,000円の集金を致します。

(4) 研修委員会 有田委員長

3月例会の卓話は、「八王子国際協会」の平野理事長にご講演いただきます。

八王子市には現在、10,000人を超える外国人が居住し、約3,400人の留学生が市内21大学等に在学する国際学園都市でもあります。

「八王子国際協会」は、こうした外国人市民に対し、八王子市とも協同して、安心して暮らせる多文化共生社会の実現を目指して、諸支援を展開しております。

当日は、具体的な活動内容を紹介していただき、八王子市が今後、ますます国際化していくなかであって、私どもプロバスクラブのこれからの地域貢献活動の参考にしたいと考えております。

(5) 地域奉仕委員会 一瀬委員長

生涯学習サロンへの一般会員は107名の参加を得ることができました。出足が悪く大変心配しておりましたが、コアのリピーターの高齢化や昨年のフラダンスの反動など減員要因が大きい中、多くのプロ

バス会員の方にサポートをいただき、新規の会員開拓でそれを補い、目標の110名にもうちょっとというところまで終盤追い込むことができました。

野外サロンも87名とバス2台分の参加者を確保できました。ありがとうございました。プロバス会員の皆様には全員参加登録ということで(賛助応援も含めて)お願いいたします。

いよいよ21日の開講式から本番がスタートします。新方式の受付体制などスムーズな運営に全力で取り組んでまいります。

(6) 交流担当 田中交流担当

他クラブとの交流の一つに「クラブだより」の交換があります。送られてきたものを例会で回覧中です。お目通しください。トピックスとして日野プロバスでは2020年11月19日に創立10周年記念事業を計画されており、準備委員会が立ち上がったそうです。

この年は、当クラブの25周年にも当たり、五所川原での全日本プロバスの総会もあり、忙しい年になりそうです。

(7) 「宇宙の学校」 下山PJリーダー

新しい会員の方もおられるので、その運営について、簡単に触れておきます。「宇宙の学校」はプロバスクラブが主となって、立ち上げてきました。開校から9年目になります。八王子市教育委員会とプロバスクラブとで、実行委員会を組織して、実施に当たっています。教育委員会に所属する八王子市こども科学館(コニカミノルタサイエンスドーム)に実働の事務局をしていただいています。我々プロバスクラブの中のPJメンバーと協力して、実施に当たっているわけです。

現在は平成31年度の計画を立てている時期ですが、こども科学館と我々PJのメンバーで、「宇宙の学校」推進会議を開いており、その場で実施計画その他の事項を審議し推進しています。

31年度は会場を一部変更して募集人員を少しでも増やそうとしています。プロバスクラブの塚本会員のご尽力により、八王子学園を会場として利用することになり、東京工科大、教育センターと合わせた3会場になりました。これによりほぼ240組の参加者を受け入れられるので、約20%の定員増で実施することになります。そのためボランティア学生の募

集を始め、いろいろな準備が必要ですが、P Jメンバーはもちろん「宇宙の学校」にご協力いただいている皆さん、昨年にも増してご協力をお願いします。

(8) 同好会報告他

- ① カラオケ同好会 高取会員
生涯学習サロンがありますので、しばらく休みますが、次回は4月18日、ビオラ・元本郷町予定。
- ② 古典芸能鑑賞会 池田会員
4月2日(火)千駄ヶ谷国立能楽堂で能楽「安宅」を鑑賞します。参加者7名予定。
- ③ 旅の会 立川会員



2020年の全日本プロバスケットボール協会が青森県五所川原にて開催されますので、その時期に合わせて旅行を組む予定を立てました。多くの皆さまの参加を募集したいと思います。参加者には毎回例会時に積立てることで、一度の費用負担を軽くする計画です。よろしくお願ひ致します。

8. プロバス賛歌斉唱



9. 閉会

飯田副会長



お疲れ様でした。今月から学習サロンが始まります。人数も皆様のおかげで大勢集まり感謝しております。来月の3月14日の例会はサロンがありますので11時30分から始まります。お間違えなきように。寒い季節なのでお身体ご自愛くださり、元気なお顔でお会いしましょう。

ハッピーコイン

- プロバスケットボール池田様の紹介により、国立劇場の楽屋に入り、人間国宝の吉田和生様を紹介され文楽の人形を直に手に取ることができ、「感謝・感謝」 杉田 信夫
- S/Dのオリンパスホールの出演の折には、クラブの方や関係者の皆さま、たくさん応援下さいまして有難うございました。頑張って歌って来ました。今年9月にいちょうホール出演も決まっております、練習もがんばります。 立川 富美代
- 節分過ぎて立春を迎えて、今日はチョコレートの日。暖かい春に向けて前進するプロバスの仲間たち。孫の卒業、就職等祝いの準備でうれしいやら、いそがしいやら。Happyである。 荻島 靖久
- お庭の水仙の花が咲きました。寒い中にもほっこり春を感じます。ハッピー！ハッピー！です。 飯田 富美子
- 手術後4年間、転移もなく過ごせました。良い医者に恵まれたことがラッキーでした。 内山 雅之
- 昨年からの忘年会、そして新年会の数々が無事にこなせました。平均余命はあと7年ですが、この分なら100歳かも？ 杉山 友一
- 道志温泉「紅椿の湯」で入浴を楽しみ、山中湖へ回り、久しぶりに忍野八海へ行ってきました。また、「府中郷土の森博物館」へ行き、観梅と古民家見学、府中の歴史を学ぶことができました。近場でも結構楽しめる所は多いですね。 寺田 昌章
- 今朝9歳の孫娘からバレンタインのチョコが届きました。長生き出来そう？ 野口 浩平
- 来週から始まる生涯学習サロン、現在一般会員107名の参加希望を頂きました。大勢の会員の方からサポート頂き、感謝の気持ちで一杯です。 一瀬 明
- 7年振りに帰国した孫たちのいわゆる帰国子女問題も彼らの希望通りに落ち着いて極めてハッピーです。 一瀬 明

- 「落伍者をつくらない八王子の教育のために」をテーマとした第1回目の自主学習会を1月29日に14名の方に参加して頂き実施しました。

経済的に恵まれない子どもを対象とした無料塾での指導を始めて喜ばれております。また、小学校ではPTAの会長さんが積極的に動かれていますので、これからが楽しみです。

深谷 正徳

- 妻が昨年10月に東海大学八王子病院消化器外科ですい臓ガンの手術をし、無事わが家に帰れて和泉先生に感謝。妻から、ありがとうございます。

大野 幸二

- 後期高齢者のご案内を頂きましたが、年齢相応に動けなくなり皆さまにご迷惑をおかけしておりますことをお詫びいたします。

根本 洋子

- 平成最後の年も明け、早や2ヶ月も過ぎようとしています。4月になると新しい天皇、そして年号も定まり、嬉しい年となります。心新たに！！

宮城 安子

- 東京オリンピックのボランティア登録ができました！世界へのご恩返しを少ししたいと思っています。また、池江璃花子選手に大きなエールを！！

持田 律三

- 2月例会も無事に参加でき日々感謝です。チョコも頂きx2に。

佐々木秀勝

- 1月27日にわがシニア・ダンディーズがオリンピックホールに立つことができました。週1回の練習の成果が披露できて、記念すべき日となりました。

田中 信昭



米国初出張体験記(その2)

(昭和47年5月から6週間)

岡部 治

米国の合弁会社の我々をエスコートしてくれる役目のブルースさんのお宅にも何回か行きましたが、郊外の瀟洒な二階家で調度品が大変豪華なので感心したら「中近東と東南アジアを担当して帰国する時に、コンテナに調度品を詰め込んで送ったら運良く税関を無審査で通ったのでこんな物持ちになった

んだよ」とのことでした。特に絨毯は素晴らしいものでくるぶしに届くほど毛足の長いものでした。廻りの家々も似たような建て方が多く、家の庭はほとんど芝生で隣との堺に塀は無いのですが芝生の刈り込みはちゃんと自分の家の分だけするようです。野生のリスが沢山居て、子供がリスにいたずらすると近所のおばさんが注意するという風景が見られました。

リンカーンが青年時代を過ごしたニューセイラム



に連れて行ってもらいました。丸太小屋風の粗末な建物が点在する集落ですが、結構観光客が来ていて、郵便局があつて手紙を出す人が大勢居ました。私もその1人で娘に絵はがきを出しました。別

の日にセントルイスのリンカーントム（リンカーンの棺が祭られている所）に連れて行って貰いましたが、観光客の多いのに驚きました。米国人の多くがリンカーンを尊敬していると聞かされました。

仕事でインディアナポリスへ行きました。約束の日の前日に行ったので時間があり、先ず歴代の優勝したレーシングカーの展示場を見てから、ツアーバスでレーシング場を見物したのですが、インディ500の翌々日だったので場内は新聞紙などのゴミの山でした。レーシング場の中にゴルフコースの2~3ホールが作られて居るのに驚きました。ホテルで夕飯を食べている時に気がついたのですが食堂の前がスタートホールになっていて、年配の夫婦らしい2人がスタートして行くのが見られました。17時過ぎの時刻でしたが、夏時間なので20時位まではゴルフの出来る明るさだったのです。

この出張の頃、家内が紙人形を習っていて、その先生と十数体の紙人形を手土産として持たせてくれたのですが、これが好評で、皆さんに喜んでもらえました。高さが20~30cmと結構大柄でスーツケースに詰めるのに苦労し、チェックされた時、商品見本として没収されはしまいかという不安はありましたが、幸い無事に持ち込めて、差し上げた方から大変喜ばれて良かったです。

また、お金の収支を記録することを先輩から教えられたので実行しました。ホテルは1週間毎の精算

俳句同好会便り

私の一句 二月の句会から

河合 和郎

俳句同好会のメンバーの句集「夕やけ」第六号の編集が進んでいる。俳句同好会の誕生は平成 23 年 12 月。あれから 8 年余、メンバーの個性豊かな作品が紹介できることは喜ばしい限りのこと。

畑大根裸婦に似たりとしたり顔 飯田富美子

「私裸婦像みたいでしょ」と大根に語らせたところがミソ。遊び心満点の一句。しかも作者は女性。

雪だよと玄関からの弾む声 馬場 征彦

作者は日常の出来事を上手く句にまとめる。「玄関からの弾む声」で全てを語る微笑ましい佳句。

春満月火星木星寄り添ひぬ 渋谷 文雄

火星と木星が月に接近して見える壮大な春の天体ショーを一句に。句の材料は身近に無限を証明。

節分や土竜築山もつくもく 山形 忠顯

厄介者のもぐらを句材にしてユーモラスな一句になった。座五の「もつくもく」がいい。

風花や雲間洩る陽と綾なして 東山 榮

季節の変わり目を伝える風花。きれいな光景を詩的に詠んで佳句。作者は最近新境地を開きつつある。

蒼茫の海一瞬の寒茜 矢島 一雄

力強い一句。青青と広がる海原が一瞬茜色の染まる光景を詠む。写真的な景の捉え方が上手い。

初釜や花びら餅の紅ほのか 池田ときえ

初釜の様子を詠んで過不足なし。「花びら餅」に焦点を当てたところが斬新。観察眼が光る一句。

物差しに残るカタカナ針供養 田中 信昭

針供養に裁縫に精を出していた母の姿を偲ぶ。針仕事に欠かせない物差しの裏に母の名が……。佳句

ふつくらと雀寄り添ふ余寒かな 河合 和郎

余寒の残る庭に遊ぶ雀たちの様子を詠んだ。羽根を膨らませて身を寄せ合う姿が何とも愛らしい。

でしたが、ある時の請求が違って居たのでフロントに掛け合いに行き、私の出納の記録を見せて、会社の食事会の日の夕飯もホテルで食べたことになっているのは違ふと認めさせるのに成功したのです。たいした金額じゃないけど英語での抗議が成功したことが嬉しかったのです。

これに味をしまして、散髪に挑戦しました。散髪用の椅子が二人分ある店で 1 人客が居ました。座るとまづ「スソ刈りだけ」と言ってやってもらったのです。鏡は日本と違って後ろにあります。幸い刈る人が隣の椅子の客としゃべっているので私は口を利かなくて済んだのがラッキーでした。散髪料にチップを加えて・・・いくらだったか覚えていません。

イリノイ川の名物はナマズのフライだと聞いて早速食べに行きました。カリカリに揚げたナマズのフライは、丁度オコゼのフライと同じで抵抗なく食べられました。スーパーへ買い物にも行きました。ヘビの缶詰があるのに驚きました。また、給油に立ち寄ったスタンドでセルフでの給油を初体験しました。今の日本では当たり前のことですが、45 年前のことです。(おわり)

** 23 回生涯学習サロン開講式 **

2 月 21 日 第 23 回生涯学習サロンの開講式と特別講話が開催されました。当日は八王子市教育長、八王子南ロータリークラブ、多摩プロバスクラブ、日野プロバスクラブのご来賓をはじめ、多くの参加者により盛大なスタートとなりました。3 月 14・28 日、4 月 11 日とサロンがいよいよ始まります。

開講式の特別講話



ゴルフコンペ

ゴルフ同好会

昨年 11 月 30 日に GMG 八王子ゴルフ場にて秋の



コンペを開催しました。9 名の参加者でした。優勝は田中信昭会員、準優勝河合会員、3 位持田会員でした。

編集後記

平成の後の元号の話題が尽きないが、自分でも内心予想をしている案がいくつかある。当たれば一生の宝になる、楽しみだ。

情報委員会 持田 律三